Challenge
～インプラント臨床とミライへの挑戦～

WDAI
Women Dental Academy for Implantology

*Why wait? Your journey starts now.*

# 10th Anniversary
2016 – 2026

集い、学び、日本の女性歯科臨床家たちをつなぐ。

# 抄録集
– Abstract Book –

## 創設10周年記念・第20回定例会

2026年10月12日(月・祝) ストローマンジャパン東京セミナールーム

10th
WDAI

# 創設10周年記念・第20回定例会

# WDAI Program




**写真：WDAI キックオフミーティング（発足記念イベント）**

**テーマ**「女性歯科臨床家の『働く・学ぶ・生きる』を考える」
主催 **(会長)** WDAI 柳井智恵 氏（日本歯科大学）supported by STRAUMANN
**会場**　東京コンファレンスセンター・品川
**参加者**　220名以上
**特別講演者**
住友雅人 氏（日本歯科医学会 会長）
渡邉文彦 氏（公益社団法人日本口腔インプラント学会 理事長／日本歯科大学新潟生命歯学部 教授）
勝山英明 氏（ITI教育監事）
Frauke Müller 氏（ITI理事／ジュネーブ大学 教授）
小宮山彌太郎 氏（BOC／東京歯科大学 臨床教授）
西加南子 氏（ロードレーサー）

※プログラム順。登壇者の所属・役職等は、開催当時（2016年7月3日）のものです。

**2026年10月12日 (月・祝)**
**ストローマンジャパン東京セミナールーム**

## Opening Remarks　9:00-9:05

**開　会 小森 由子 先生**　（WDAI第20回定例会実行委員長・こもり歯科医院）

**ご挨拶　小林真理子 先生**　（WDAI会長・汐田総合病院）

**総合司会 山口絵美 先生**　（WDAI理事・東京国際クリニック）

## 会員発表（Member Presentations）　9:05-10:15

座長：小森由子 先生 (WDAI理事・こもり歯科医院)

**中久木 舞流 先生**　(浅賀歯科医院・歯科衛生士）　P.12

「**先読みは教えられるのか？**」— インプラントオペアシスト教育の現状と課題 —

**佐藤 真光 先生**　(上浦歯科クリニック・歯科技工士）　P.13

「デジタルスマイルデザインを活用した患者コンサルティングと顔貌・補綴主導型インプラント治療への取り組み」

**絹原 有理 先生**　(伊東歯科口腔病院・歯科医師）　P.11

「若手歯科医師が安心・安全にインプラント治療に挑戦するための当院での取り組み」

## 記念講演（Commemorative Lecture）　10:20-11:20

座長：小林真理子 先生　(WDAI会長・汐田総合病院)

**小野田 勝美 先生（ZOOM出演）**

「**新時代の国際宇宙協力**」（宇宙航空研究開発機構JAXA）　P.8

## 招待講演（Invited Lecture）　11:25-12:25

座長：吉武博美 先生 (WDAI理事・伊東歯科口腔病院)

**山田 陽子 先生**

「**インプラント治療におけるデジタルトランスフォーメーションの現在**」

デンタルサロン麹町　P.9

## Info PR & お昼食 Lunch　12:25-12:45 / 12:45-13:30

## 特別講演（Special Lecture）　13:30-15:00

座長：山口葉子 先生 (WDAI理事・松本歯科大学)

**髙橋 哲 先生**

「**骨造成法の現状と展望 — ボナーク®を用いた低侵襲GBRの新たな可能性 —**」

（一財）脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 口腔外科　P.7

## Looking Ahead & Closing Remarks　15:10-15:20

**WDAI. PR　山口絵美先生**　WDAI 理事　(東京国際クリニック)

**閉会　小森由子先生**　実行委員長　(こもり歯科医院)

**Group Photo（記念写真）**




## 会長挨拶



### 小林真理子

WDAI 第5代会長　( ITI Fellow, 汐田総合病院 歯科・口腔外科 )

このたび、「WDAI創設10周年記念講演・第20回定例会」を開催できますことを、大変嬉しく、また光栄に存じます。WDAI会員の皆様、講師の先生方、歴代会長をはじめ理事の皆様、ストローマン・ジャパン様、協賛企業の皆様、そしてWDAIに関わってくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

WDAIは「集い、学び、日本の女性歯科臨床家たちをつなぐ」を理念として2016年に設立され、今年創設10周年を迎えました。

この10年間に私たちは未曾有の経験をしました。COVID-19パンデミック、国際情勢の緊迫化や異常気象による災害、円安や物価上昇など、歯科医療現場の私たちは常に変化への対応を迫られました。そしてAIやデジタル技術の発展によって、歯科医学の急速なデジタル化を要求される時代を迎えています。インプラント治療に目を向けると、欠損補綴に不可欠な選択肢として広く受け入れられてきた一方で、高齢者の口腔機能低下という待ったなしの課題に直面しており、今なおラーニングカーブの途上にあります。

今回のテーマは「Challenge ～インプラント臨床とミライへの挑戦～」です。

髙橋哲先生からは骨造成、山田陽子先生からはデジタルトランスフォーメーション、どちらも現代のインプラント歯学には切り離せないお話です。また記念講演としてJAXAより小野田勝美先生をお招きします。宇宙に挑戦する人類、そして「アルテミス計画」日米の架け橋となるお仕事を遂行された女性のキャリアについてもお話しいただきます。会員発表では絹原有理先生(伊東歯科口腔病院，歯科医師)、中久木 舞流先生 (浅賀歯科医院 歯科衛生士)、佐藤真光先生 (上浦歯科クリニック 歯科技工士)と、いづれも今最もHOTな歯科医院に席を置くメンバー発表となります。ともに学び合い、そして女性のキャリアを見つめ、未来への挑戦を後押しするプログラムが、ここに実現しました。
本会が皆様にとって、新しい「Challenge」へ踏み出す契機となることを願っております。
Why wait? Your journey starts now.

【略歴】
2000年　鶴見大学歯学部卒業
2001年　鶴見大学 臨床研修歯科医師
2002年　鶴見大学 歯科補綴学第一講座専科生
2007年　鶴見大学大学院 歯学研究科 博士修了 (歯科補綴学第一講座)
2007年　鶴見大学歯学部附属病院 口腔顎顔面インプラント科
2011年　スイス・ジュネーブ大学歯学部 歯科補綴学教室 ITIスカラー（Prof.ベルザー，Prof. F.ミュラーに師事 ）
2012年　鶴見大学歯学部附属病院 口腔顎顔面インプラント科
　　ITI SC co-Director
2014年　公財)横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院 歯科・口腔外科　(現在に至る)






## 【実行委員長 挨拶】

**小森由子**　WDAI 第20回定例会実行委員長

(こもり歯科医院，京都府開業．WDAI理事，日本口腔インプラント学会専門医，ITIメンバー)

この度、WDAIは10周年の節目を迎えることができました。これまでの歩みを支え、 WDAIの発展にご尽力されてこられた諸先輩方、そして日頃よりWDAIの活動を支えてくださっている会員の皆様に、心より敬意と深く感謝を申し上げます。

**多様化する社会における、女性の視点とWDAIの使命**

近年、わが国では超高齢社会が急速に進展し、口腔インプラント治療を取り巻く環境も大きく変化しています。全身疾患やフレイルを有する患者へのきめ細やかな対応、長期的な口腔機能管理、医科歯科連携の推進など、私たちに求められる役割はますます多様化・高度化しています。 また、デジタル技術やAIなどの技術革新はインプラント治療の可能性を広げる一方で、常に最新の知見に基づいた適切な評価と活用が求められています。このような変革の時代だからこそ、私たちWDAIは、学術団体として確かなエビデンスのもと、安全で質の高い医療を社会に提供していく使命があります。特に、女性歯科医師や女性専門職ならではの柔軟な視点、ライフステージに寄り添うアプローチは、これからのインプラント医療においてさらに重要性を増していくと確信しております。

**キャリア支援・人材育成と、患者様に寄り添うコンプライアンスの徹底**

今後の持続的な発展に向け、歯科医師だけでなく、現場を支える専門歯科衛生士や専門歯科技工士の会員に対しても、それぞれのライフステージに応じた研修制度や教育プログラムの充実を図ってまいります。専門知識と高度な臨床能力を備えた多様な人材の育成を支援し、誰もが持続的にキャリアを築ける環境を整えていく所存です。 また、多様なライフスタイルに共感できる視点や高い傾聴力を活かし、不安を抱える患者様に真摯に向き合うとともに、医療倫理とコンプライアンスを徹底し、社会に対しても適切で透明性の高い情報提供を行っていくことが重要であると考えています。

**おわりに**

インプラント治療に対する社会的関心が高まる中、正確でわかりやすく、安心感のある情報を発信し、社会の理解と信頼を深めることが不可欠です。インプラント治療が健康と福祉にさらに貢献し、社会からより一層信頼される学問・医療分野として発展するよう、誠心誠意努める所存です。 会員の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【略歴】

2005年3月　徳島大学歯学部卒業
2005年4月　徳島大学小児歯科学講座所属　徳島大学顎関節症外来
2007年4月　京都市中京区　安田歯科医院勤務（インプラント治療に携わる）　京都市内で訪問歯科に携わる
2016年8月　京都市中京区　こもり歯科医院開院
2024年2月　京都市中京区姉小路通柳馬場西入　こもり歯科医院移転
~2025年6月　京都市中京歯科医師会　地域医療部　理事
2025年7月~　京都市中京歯科医師会　副会長
~2025年6月　京都府歯科医師会　地域保健部　部員

・京都市本能特別擁護老人ホーム　協力歯科医師
・特別擁護老人ホーム　壬生老人ホーム　協力歯科医師
・YMCA三条保育園　壬生寺保育園

Challenge

WDAI
Women Dental Academy for Implantology

10th Anniversary
2016－2026

集い、学び、日本の女性歯科臨床家たちをつなぐ。

Why wait?
Your journey
starts now.

特別講演

# 骨造成法の現状と展望
## -ボナーク®を用いた低侵襲GBRの新たな可能性-



**髙橋　哲 先生**　(一財）脳神経疾患研究所附属総合南東北病院口腔外科

近年のインプラント治療において、骨造成の進歩はインプラントの適応症を飛躍的に拡大しました。膜を用いたGBR法、自家骨を使った骨移植法、さらにはチタンメッシュを用いた骨造成法など、種々の骨造成手術の方法が開発され、その方法が確立されつつあります。特に上顎臼歯部においては、上顎洞底挙上術は、予知性のある上顎臼歯部の骨造成法として確立されています。現在のインプラント治療は骨造成無しには達成できないといっても過言ではありません。その中で患者の満足する治療を達成するためには、いかに外科的侵襲を少なく、予知性の高い、そして合併症の少ないインプラント植立と骨造成を行うかが非常に重要なポイントとなります。低侵襲治療が推奨されている現在、骨造成にあたっては、できるだけ患者の負担を少なくした骨造成とインプラント埋入が求められています。したがって自家骨に頼ることなく、骨補填材を用いた予知性の高い骨造成法の確立が望まれるところです。私が開発に携わった骨補填材、リン酸オクタカルシウムコラーゲン複合体（Octacalcium phosphate/Collagen=OCP/Col、商品名ボナーク®）は生体アパタイトの前駆物質OCPを含み、従来の骨補填材よりも速やかな骨再生が期待できる骨補填材料で、アテロコラーゲンとの複合体という特性からさまざまな骨造成に応用が可能です。本講演では、これまでの骨造成の歴史と、現在の適応と限界、さらにボナーク®を用いた骨造成法、特に低侵襲GBRの可能性についてお話したいと思います。

**【略歴】**

1983年3月　東北大学大学卒業
1987年3月　東北大学大学院歯学研究科修了（口腔外科学専攻）
1987年9月　米国南カリフォルニア大学/英国ロンドン大学ユニバーシティーカレッジ客員研究員
1990年8月　東北大学歯学部口腔外科学第二講座助手
1994年4月　秋田大学医学部附属病院歯科口腔外科助手、翼年講師昇任
2000年7月　九州歯科大学口腔外科学第二講座教授
2012年4月　東北大学大学院歯学研究科口腔病態外科学講座顎顔面・口腔外科学分野教授
2014年4月　東北大学病院副病院長、2016年から総括副病院長
2022年4月　東北大学名誉教授
2022年4月　（一財）脳神経疾患研究所附属南東北福島病院口腔外科部長
2026年4月　（一財）脳神経疾患研究所附属総合南東北福島病院口腔外科
　顎関節・顎変形センター長、南東北福島病院口腔外科部長兼務

アジア口腔顎顔面外科学会理事長（エグゼクティブディレクター）
国際口腔顎顔面外科学会アジア代表理事
APIS（Asian Pacific Implant Society）事務局長
ITIフェロー

Challenge

WDAI
Women Dental Academy for Implantology

10th Anniversary
2016－2026

集い、学び、日本の女性歯科臨床家たちをつなぐ。

Why wait? Your journey starts now.

記念講演



## 新時代の国際宇宙協力

**小野田勝美 先生**　宇宙航空研究開発機構（JAXA）調査国際部長

激変する世界の宇宙開発と新時代の国際協力について、現在の日本をとりまく国際情勢・社会課題と絡めて、環境問題への関心からJAXA（前身のNASDA）に入り、その後大学に戻り博士号を取得、国際機関への派遣等を経てJAXAに復職したキャリアを持つ講演者がご紹介します。前職ワシントン駐在員事務所長時代には、日米の架け橋として「アルテミス計画」の交渉の場に立ち会い、2024年に日米両政府による「日本人宇宙飛行士２回の月面着陸」という歴史的合意についてお話しします。さらに、現在JAXAで挑むアジアや中東など世界各国との新たな共創体制の構築を展望。地球環境保全の視点も交え、次世代の宇宙協力について語ります。

**小野田 勝美 （おのだ まさみ）氏**

2024年7月より調査国際部長として、JAXAの世界各国との国際協力並びにJAXA及び政府への宇宙航空分野の国際動向に関する調査分析情報の提供を所掌。2018年より6年間、JAXAワシントン駐在員事務所長として、米航空宇宙局（NASA）はじめ政府、産業、学界等との連絡調整・情報収集等に当たり、2019年米政権によるアルテミス計画発表から、2024年4月日米両首脳による日本人宇宙飛行士の月面着陸合意発表まで、日米の宇宙協力構築をサポートした。1995年宇宙開発事業団（NASDA、JAXAの前身の一つ）採用、1999年国連宇宙部（オーストリア、ウィーン）へ派遣、2000年よりJAXA衛星プログラム推進部にて地球観測衛星にかかる国際調整を担当し、日本政府の「小泉構想」に「統合地球戦略」が盛り込まれ、地球観測に関する政府間会合(GEO)が設立されるプロセスに関わった。2003年より大学院に通う傍ら、非常勤にてJAXA関西サテライトオフィス立ち上げを担当、小型衛星「まいど１号」プロジェクト・中小企業への宇宙技術移転に携わる。2009年よりGEO事務局（スイス、ジュネーヴ）へ派遣、地球観測計画の国際調整に関わる。2012年よりJAXA航空部門企画室、調査国際部、ワシントン駐在員事務所を経て2024年より現職。

Challenge

WDAI
Women Dental Academy for Implantology

10th Anniversary
2016 – 2026

集い、学び、日本の女性歯科臨床家たちをつなぐ。

Why wait? Your journey starts now.

招待講演



# インプラント治療における
# デジタルトランスフォーメーションの現在

**山田陽子 先生**　デンタルサロン麹町

近年、歯科医療におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）は急速に進展し、インプラント治療のワークフローを大きく変えつつある。CBCT、口腔内スキャナー、CAD/CAM、サージカルガイド、AIなどの導入により、診断・治療計画・外科処置・補綴設計の精度と再現性が向上している。本講演では、インプラント治療におけるDXの現在地を整理し、診断精度向上、安全性向上、治療時間短縮、患者説明の質向上といった臨床的メリットを解説する。さらに、デジタル化がもたらすチーム医療の効率化や、多様なライ
フステージの中でも持続可能な診療スタイルの可能性について考察する。一方で、デジタル技術に依存しすぎないアナログな診査・診断や臨床感覚の重要性についても再確認し、デジタルとアナログの融合による最適なインプラント治療の在り方を提案する。

**【略歴】**

1997年　北海道大学歯学部 卒業
　　東京医科歯科大学歯学部附属病院 顎顔面外科分野 所属
2004年　東京医科歯科大学大学院修了 歯学博士学位取得
2005年　東京大学医学部附属病院 口腔顎顔面外科・矯正歯科 所属
2008年　デンタルサロン麹町 開業 院長就任

所属学会
日本口腔インプラント学会 専門医

Memo



Challenge

WDAI
Women Dental Academy for Implantology

10th Anniversary
2016 – 2026

集い、学び、日本の女性歯科臨床家たちをつなぐ。

Why wait? Your journey starts now.

会員発表

# 若手歯科医師が 安心・安全にインプラント治療に挑戦するための当院での取り組み



**絹原有理 先生**　(歯科医師)　医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院

**I. 目的**：当院では、若手歯科医師がインプラント治療を段階的に習得できるよう、診査・診断から手術、補綴、メインテナンスに至る一連の診療をシステム化している。今回、その診療の流れを各段階に分け、どのように学んでいるかを報告する。

**II. 方法および対象**：

①初診時：当院は1.5次～2次医療機関の役割を担うため、全身既往を確認し、有病者は　かかりつけ医療機関と情報共有を行う。インプラント治療の希望者にはインプラント教室の受講を必須とし、治療内容や術後管理について患者教育を行う。

②検査：口腔内外診査、口腔内写真、デンタル・パノラマX線撮影、CT撮影、歯周組織検査、研究用模型作製、咬合診査により全顎的に情報を収集する。角化歯肉幅を確認し、歯周病を有する場合は歯周治療を優先する。プラークコントロール不良例には位相差顕微鏡を用いて行動変容を促す。

③診断・分析・治療計画：インプラント埋入シミュレーションソフト（coDiagnostiX、Straumann）で埋入位置を検討し、サージカルガイドと3D模型を作製して術前分析を行う。

④術前カンファレンス：毎週水曜日に医局員全員が参加し、インプラント科、口腔外科、放射線科、補綴科、麻酔科がそれぞれの立場から症例を検討する。

⑤手術：全症例を清潔下で行い、術中は血圧、脈拍、$SpO_2$を測定する。器械出しは歯科衛生士、全身管理は麻酔科医と看護師が担当する。若手歯科医師は上級医の手術を介助し、術式と周術期管理を学ぶ。

⑥印象採得：十分な埋入トルクが得られた中間歯欠損では、多くの症例でジグを用いて印象採得を行う。遊離端欠損では6～8週間待機する。上顎前歯部の即時補綴希望例では、ガイドプロビジョナルを用いて手術当日にプロビジョナルレストレーションを装着する。近年は光学印象の割合が増えている。

⑦術後処置：術直後は圧迫と冷罨法を行い、その後は創離開の有無や口腔内清掃状態を確認し、インプラント専用歯ブラシによる清掃指導を行う。

⑧補綴処置：印象採得前にペリオテストでオッセオインテグレーションを確認する。上部構造は、基底面と粘膜面が調和するよう歯科技工士と相談しながら調整する。

⑨メインテナンス：術後2年間は6か月ごと、その後は年1回、各種臨床指標、インプラント周囲粘膜炎・周囲炎、骨吸収、動揺、スクリューの緩みおよび破折の有無を確認する。

**III. 結果**：これらの工程を通じて、有病者への対応、術前計画、複数診療科による症例検討、多職種による安全管理下での手術、補綴処置、メインテナンスを実践でき、若手歯科医師が段階的に経験を積むことができた。

**IV. 考察および結論**：若手歯科医師がインプラント診療を安心・安全に学び、インプラント治療へ挑戦していくためには、各工程で上級医、歯科技工士、放射線技師、歯科衛生士等と協力し、複数診療科・多職種の連携のもとで学ぶことが重要である。あわせて、安全な治療の実現には患者の理解と協力を得るための教育も欠かせない。本システムは、安全な診療と若手歯科医師の実践的な修練を両立させるものと考える。

**【略歴】**

2019年：日本大学歯学部卒業

2024年：口腔外科認定医取得

2026年現在：伊東歯科口腔病院勤務

Challenge

WDAI
Women Dental Academy for Implantology

10th Anniversary
2016 – 2026
集い、学び、日本の女性歯科臨床家たちをつなぐ。

Why wait? Your journey starts now.

会員発表

# 「先読みは教えられるのか？」
## ～インプラントオペアシスト教育の現状と課題～




なかくき まな
**中久木 舞流 先生**　(歯科衛生士)　浅賀歯科医院


I目的：　インプラント治療におけるオペアシストには、器具の受け渡しや術野管理に加え、術者の意図を理解し、次の処置を予測して行動する「先読み力」が求められる。しかし、この能力は経験に依存する部分が大きく、具体的な教育方法や評価指標は十分に確立されていない。本発表では、当院におけるオペアシスト教育の現状を振り返り、先読み力を育成するうえでの課題を検討する。

II 対象および方法：当院では、マニュアルによる基礎知識の習得、手術見学、術前カウンセリングへの参加および段階的な実践を組み合わせてオペアシスト教育を行っており、その現状を振り返った。

III 結果：器具名や術式の基本的な流れについては一定の習得が得られた一方、症例や術者によって変化する状況を判断し、次の処置に備える能力には個人差が認められた。また、指示を受けて行動する段階から、術者の意図を踏まえて主体的に行動する段階への移行は、経験年数のみでは達成されない場合があった。さらに、術者ごとに手術手順、判断基準およびアシストに求める内容が異なることも、教育を困難にする要因となっていた。

IV 考察および考察：先読み力の育成には、手術手順を暗記するだけでなく、各操作の目的、術式の選択理由および術者の判断過程を理解することが必要である。また、術後の振り返りを通じて、学習者が自らの判断と行動を言語化し、教育者が具体的なフィードバックを行うことが、思考過程の習得につながる。一方、指導内容や評価方法は教育者の経験に依存しやすく、施設内でも統一されていない場合がある。オペアシストに求められる先読み力は、経験のみで形成されるものではなく、術式の理解、判断過程の共有、術後の振り返りおよび具体的なフィードバックによって習得を支援できる可能性がある。今後は、症例ごとの予測事項や判断根拠を共有できる教育方法を整備して先読み力を段階的に評価する仕組みを検討するとともに、教育者と学習者の双方が活用できる指導方法および評価指標を構築することが課題である。

**【略歴】**

2022年　高崎歯科衛生専門学校 卒業
2022年　医療法人寛友会　浅賀歯科医院 入職　現在、インプラント治療を中心に、オペアシスト、周術期管理およびメインテナンスに従事。

**【資格】**

・公益社団法人 日本口腔インプラント学会 認定専門歯科衛生士

**【講演・学会発表】**

・第54回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会　歯科衛生士セッション　発表
・第55回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会　歯科衛生士セッション　発表
・AtoZ主催「BEYOND THE SCREEN」講演（2026年）

**【所属】**

・公益社団法人 日本口腔インプラント学会
・WDAI

Challenge

WDAI
Women Dental Academy for Implantology
10th Anniversary
2016 – 2026
集い、学び、日本の女性歯科臨床家たちをつなぐ。

Why wait? Your journey starts now.

会員発表

# デジタルスマイルデザインを活用した患者コンサルティングと顔貌・補綴主導型インプラント治療への取り組み



さとう まなみ
**佐藤 真光 先生** (歯科技工士 ) 医療法人社団　熊澤歯科　上浦歯科クリニック

**I** 目的：近年，デジタル技術の進歩により，患者との治療目標の共有やチーム医療における情報共有の重要性が高まっている．一方で，患者・歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士の間で最終補綴のイメージを十分に共有できず，治療計画や補綴設計に認識の相違が生じることも少なくない．そこで当院では，顔貌写真や口腔内データを用いて、顔貌と調和した治療後のスマイルをデジタル上で設計・視覚化する手法（デジタルスマイルデザイン）を患者コンサルティングの入口として活用し，その情報をインプラント治療へ展開するデジタルワークフローを構築している．本発表の目的は，デジタルスマイルデザインを起点とした顔貌・補綴主導型インプラント治療のデジタルワークフローを，臨床における一つの工夫として提案することである．

**II** 方法：顔貌写真およびDICOM・IOSデータを用いてデジタルスマイルデザインを行い，患者と治療後のイメージを視覚的に共有した．次いで，得られたデザインデータをもとに，顔貌情報を活用した補綴主導型インプラントシミュレーションを行い，サージカルガイド設計へ応用した．さらに，患者・歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士が同一の治療ゴールを共有し，診断から補綴設計まで一貫したデジタルワークフローを実践した．本発表では，実際の症例を通してこのワークフローを供覧する．

**III** 結果：デジタルスマイルデザインを治療の入口として活用することで，患者とのコミュニケーションが円滑となり，治療目標を視覚的に共有できた．また，デザインデータを各種デジタルツールへ展開することで多職種間での情報共有が容易となり，インプラントシミュレーションおよびサージカルガイド設計への連携が円滑に行えた．その結果，顔貌情報を反映した補綴主導型インプラント治療を，診断から補綴設計まで一貫したデジタルワークフローのもとで実践できた．

**IV** 考察および結論：デジタルスマイルデザインを起点とするデジタルワークフローは，患者との治療目標の共有および多職種間の情報共有に有用であった．また，歯科技工士が補綴物製作だけでなく患者コンサルティングや治療計画の段階から関与することは，チーム医療の質の向上および患者満足度の向上に寄与すると考えられた．

［略歴］

1998年　北海道歯科技術専門学校　卒業

1998年　医療法人社団　熊澤歯科　熊澤歯科クリニック　勤務

2014年　医療法人社団　熊澤歯科　上浦歯科クリニック　勤務

［所属］

International Team of Implantology (ITI)　メンバー

ITI Study Club Dental Technician　サポーター

WDAI 会員

Memo

Challenge
～インプラント臨床とミライへの挑戦～

# WDAI 10th Anniversary Gala

*Celebrating 10 Years of Learning, Connection, and Growth.*

# *Program*

WDAI
Women Dental Academy for Implantology

WDAI

GALA

**創設10周年記念祝賀会**

*@八芳園 2026年10月12日*

**16:30** Reception Opens

**17:00** Opening Remarks

- 小林真理子先生（WDAI会長）

Congratulatory Remarks（祝辞）

- Keynote Congratulatory Address
  髙橋 哲 先生
- Founder's Address
  柳井 智恵 先生 (初代会長)

Toast　渥美美穂子 先生 (第４代会長)

🍷 Dinner & Networking

Special Gala Performance

- Opera
  髙田尚美 先生
- Sponsor’s Address
  北本優子 社長

WDAI 10th Anniversary Video Message
Prof. Frauke Müller ( Geneva University, 🇨🇭 )

WDAI 10th Anniversary Special Movie

*~ Celebrating the Legacy of*
田中道子先生 *(*第２代会長*)~*

Ceremonial Hand Clap (Closing Remarks)

- 立川敬子先生 (第３代会長)

**19:00** Vote of Thanks -Closing

吉武博美先生 (WDAI理事)

**Happo-en**

Established over 400 years ago, Happo-en is one of Japan's most distinguished traditional gardens and event venues. Surrounded by seasonal beauty, it provides a setting where history, hospitality, and celebration come together. We are honored to celebrate the WDAI 10th Anniversary in this special place.

**八芳園**

江戸時代から約400年の歴史を受け継ぐ八芳園は、四季折々の自然に囲まれた日本を代表する庭園を有する迎賓施設です。歴史と伝統、そして新たな未来が調和するこの場所で、WDAI創設10周年という節目を皆様とともに迎えられることを、大変嬉しく思います。

# *Messages* for the 10th Anniversary



## 10th Anniversary Messages from Past Presidents

### 創設10周年に寄せて ―

**Special Video Message**

From Prof. Frauke Müller ( Geneva University, 🇨🇭 )

My sincere and warm-hearted congratulations to the 10th anniversary of the WDAI Woman Dental Academy for Implantology. 10 years already.

I remember as yesterday when I send you the first welcome message to the initiation of your Congress, time flies. Really. I'm so proud to see your association successful in flourishing.

We need woman networks. To learn to grow together and support one another. It is great to see progressively more and more women having a position in academia and having our voices heard.

I'd like to congratulate Mariko Kobayashi to her appointment as president of WDAI. I still remember your time in Geneva, Mariko, and I'm very impressed. I'm following it a little bit from a distance. I'm very impressed by your achievement since.

I wish you a wonderful and successful Congress and a good continuation of your woman network.

WDAI（Woman Dental Academy for Implantology）10周年に、心よりお祝いを申し上げます。
もう10年になるのですね。まるで昨日のことのように、皆さんの創立記念式典に、私が最初の歓迎メッセージを送ったことを覚えています。本当に月日が経つのは早いですね。そして、貴学会がこれほどまでに発展し，成功を収めていることを、大変誇りに思っています。

私たちにとって、共に学び、共に成長し、互いに支え合うための女性のネットワークは不可欠です。

学術界で活躍する女性が増えポジションを得て、私たちの声がきちんと届く様になってきている。着実に開花しくのが見れるのは素晴らしいことです！

また、小林真理子先生がWDAI会長に就任されたことにも、お祝いを申し上げます。マリコ、あなたがジュネーブにいた頃のことを、今でも鮮明に覚えています。少し離れたところからではありますが、あなたの歩みを見守ってきました。その後よく頑張ったわね。

WDAI学術大会の素晴らしい成功と、女性ネットワークのさらなる発展を心よりお祈りしています。

(＊ 祝賀会放映動画より)

# 創設10周年記念　特別演奏

# *Special Gala Performance*

**Program**

- **Zueignung (Dedication)** — Richard Strauss
- **"Qual fiama avea nel guardo"** *(from* Pagliacci*)* — Ruggero Leoncavallo

*In celebration of the WDAI 10th Anniversary.*



**Soprano**
高田 尚美 先生

## 高田尚美先生

1980年代より日本大学歯科病院総合歯学診療所でインプラント治療に携わる。以降歯周病学、歯科補綴学、矯正学、咬合、顎関節症、マイクロスコープなどのコースを受講し、インプラントを含む包括的な歯科治療を模索する。
2015年にインプラント関係としては初の女性歯科医師限定の1dayセミナー「インプラントーはじめの1本ー」を開催した。以後2016年に第2回,　2017年に第3回の1dayセミナーを開催し、2018年と2019年は男女の枠を外し歯科医師対象に安全で確実なインプラント治療の基礎を伝えた。
2020年新型コロナウィルス感染症のため外出がままならない中,WHITECROSS社より他社に先駆けてWebセミナー「インプラントーはじめの1本ー」を行い、その後も「長持ちするインプラント」で治療計画から術後管理までの一貫したインプラント治療を提唱している。
2026年 第4回プリマヴェーラ声楽コンコルソで“熱演賞”を受賞した。
あらゆるものに興味を持ち、向学心を失わないことを心掛けている。

歯科医師・歯学博士
小金井歯科　院長
日本大学歯学部 卒業、日本大学大学院歯学研究科基礎系 修了
公社)日本口腔インプラント学会　専門医、関東・甲信越支部　学術委員
NPO）埼玉インプラント研究会　監事
社）日本顕微鏡歯科学会　認定医



**Piano**
小林 かなこ 様

**小林かなこ 様** (ピアノ伴奏)

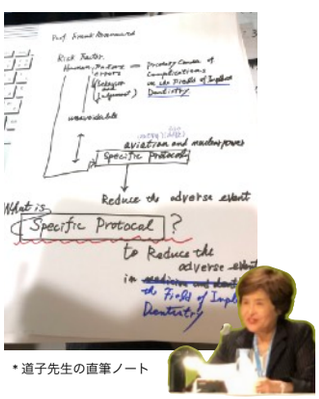
東京大学 教養学部卒業。音楽家・音楽教育家
株式会社NINFA代表(日常にアートを。音楽と歌のチカラを。)



# *Celebrating the Legacy*
# of Dr. Michiko Tanaka.

## 10周年記念
## スペシャルムービー

WDAIは2016年4月1日、リードチームの先生方とストローマン、そしてファウンダーの先生方により設立しました。活動は定例会、メンタープログラム、そしてハンズオンコースを三つのプログラムを柱とし…なかでも、(故) 田中道子先生 (第２代会長) が情熱を傾けられたメンタープログラムは、実際の手術見学を通して，多くの女性歯科臨床家に学びと挑戦の機会を与え、発足当初からWDAIを象徴する取り組みとして開催されました。またハンズオンコースは 、2日間コースとして開催され、理事全員が実習指導に携わるなど、受講生一人ひとりに寄り添うWDAIらしい学びの場でありました。そして定例会はご存知の通り、内外のスペシャリストに耳を傾け共に学び合う場として、今に引き継がれています.
ここから波及した企画は多く，地方会や症例検討会，合宿型研修など，楽しみながら学ぶ機会を多く創出してまいりました.



＊道子先生の直筆ノート

この10周年記念スペシャルムービーは、WDAIの歩みを振り返るとともに
(故)田中道子先生への感謝と敬意を込めたものです。

**〜 先人から受け継いだ想いを、次の世代へ。**

WDAIはこれからも、挑戦する… すべての女性歯科臨床家たちを応援し続けます。



# *Messages* for the 10th Anniversary



## 創設10周年に寄せて ―

**WDAI相談役　柳井 智恵**

日本歯科大学附属病院　口腔インプラント診療科 教授、WDAI初代会長




Women Dental Academy for Implantology（WDAI）が創設10周年を迎え、記念すべき第20回定例会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

WDAIは2016年、「集い、学び、女性歯科臨床家たちをつなぐ」という思いのもと、インプラントを主軸とした包括的臨床を志す女性歯科医療従事者の研修と活躍を支援する場としてスタートしました。第1回定例会では「女性歯科臨床家の『働く、学ぶ、生きる』を考える」を掲げ、多くの皆様にご参加いただいたことを、今も鮮明に覚えております。



それから10年。20回の定例会を重ね、世代や職種を越えて互いに学び、支え合い、新たな「匠（プロフェッショナル）」を育む場へと成長したことを、大変嬉しく思います。また、さまざまなライフステージにおいても学びを止めることなく、それぞれのキャリアを築き、互いに刺激し合える仲間とのつながりこそ、WDAIの大きな財産であると感じています。

歯科医療は大きく変化していますが、患者さんに真摯に向き合い、知識と技術を磨き続ける姿勢は変わりません。これからもWDAIが、多様な視点と専門性を活かし、次世代を担う人材を育み、日本から世界へ歯科医療を発信する場として、さらに発展することを願っております。

10年間WDAIを支えてくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

# *Messages* for the 10th Anniversary



## 創設10周年に寄せて ―

**WDAI相談役　立川 敬子**

講道館ビル歯科・口腔外科、WDAI第三代会長



かなり昔（？）テレビCMで聞いた「大人になってからも、友達ってできるんだね！」というセリフ．何のCMだったか全く覚えていないのですが，WDAI（女性歯科インプラントアカデミー：Women Dental Academy for Implantology）で出会ったみなさんと楽しく交流しているうちにこのフレーズを思い出し，以前にもコラムに書かせていただきました．

この仕事をしていると，患者さんは別としても，お付き合いの範囲が狭くなりがちです．そのような中，最初の取っ掛かりは「インプラント治療に関わっている女性歯科医療従事者の集まり」でした．ところが，実際に参加してみると，インプラントを学ぶこと以上に，そこで出会ったみなさんとの関係にのめり込むような魅力がありました．そして，WDAI結成以来10年．あっという間でした！



世の中では「女性活躍」が叫ばれて久しいですが，歯科界では男性優位の状況がなかなか改善しませんでした．歯学部の学生は女子がすでに半数を超えるようになっていますが，卒後に学ぶことがほとんどになる歯科インプラント治療を手掛ける女性歯科医師は，まだまだ多いとはいえません．

そんな状況を少しでも変えていこうと，以前は学会主導で「女性インプラントロジストセミナー」等が開催されたこともありました．しかし，継続することはなかなか難しく，短期間で企画は終了してしまいました．
ただ，そこで築けた人間関係は，その後のつながりへと続いていきました．

WDAIも，そうしたつながりの延長線上に生まれたものなのかもしれません．

思い起こせば10年前，WDAI創設の際には，初代会長の柳井智恵先生，今は亡き第二代会長の田中道子先生，前会長の渥美美穂子先生とともに，リードチームの構成員となりました．最初から強い結びつきがあったわけではなく，お互いに名前を知っている程度だった私たちも，何度も顔を合わせるうちに，いつの間にか個人的にも楽しくお付き合いできる関係になっていきました．WDAIが10年続いてきた理由の一つは，このような人と人とのつながりにあったのではないかと思っています．

10年という時を経て，私たちもその役割を終え，新しいリーダーのみなさんにバトンを託すことになりました．

ICT（情報通信技術：Information and Communication Technology）やAI（人工知能：Artificial Intelligence）などの利用が進み，世の中は急激に変化しています．歯科治療の進め方や学び方も，これからの時代に合わせて変えていく必要があるでしょう．インプラント臨床においても，新しい技術や知識を取り入れながら，それぞれの時代に合ったChallengeを続けていくことが大切なのだと思います．

その意味でも，今回，ちょうどよいタイミングで世代交代ができたことは，今後のWDAIの継続，発展につながるものと悦ばしく思っています．これからWDAIに参加する若いみなさんにも，ぜひこの場で知識や技術だけでなく，長く付き合える仲間を見つけていただきたいと思います．

私自身も，これからは一会員として，新しいWDAIの歩みを楽しみにしながら，みなさんと楽しくお付き合いさせていただければ幸いです．



# *Messages* for the 10th Anniversary



## 創設10周年に寄せて ―

**WDAI相談役　渥美 美穂子**

MAデンタルクリニック、WDAI第四代会長



現代の旅客機は、500名を超える乗客を20時間近くにわたって安全に運びます。ライト兄弟の時代から考えれば、驚くべき進歩です。機内では食事をし、排泄もしますが、今日、それらが「上空から廃棄されている」と考える人はいないでしょう。人間の生理機能は変わらなくても、技術の進歩によって、かつては困難だったことが当たり前にできるようになったのです。

インプラント治療の発展も、まさに同じです。 患者の生理機能が変わったわけでも、ましてや「神の手」が介在したわけでもありません。変わったのは、先人たちが積み重ねてきた知識と技術です。かつては誰もが認める治療法とは考えられていなかったインプラントが、今日では欠損補綴における重要な選択肢の一つとなり、多くの人々に恩恵をもたらしています。

進化し続ける技術を適切に臨床へ応用し、先端歯科医療の未来を切り拓く。その歩みに女性の力を――。その思いからWDAIを立ち上げ、10年が経ちました。

10年という年月は、決して特別な出来事ではないのかもしれません。振り返れば、私自身も10歳、年齢を重ねたことになります。歴史上の為政者たちは、尽きることのない野望を抱き、不老不死を求めました。しかし、私が大切だと思うのは、現状に立ち止まることではなく、先人たちに倣い、たとえそれが些細な一歩であっても、歩みを続けていくことです。



この10年間、特別に大きな進歩を遂げたとは言えないかもしれません。それでも、今振り返ってみると、WDAIを立ち上げたあの日のスタート地点は、遥か彼方にあるようにも感じます。

この10年間、同じ道を歩み、支えてくださった仲間の皆さまに、改めて心より感謝申し上げます。

# *Messages* for the 10th Anniversary from WDAI 理事 (就任順)

## 山口絵美 先生 ( 東京国際クリニック )



この度はWDAI設立十周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

思えば十年前、女性歯科臨床家が共に学び支え合う場をつくりたいという願いから、本会は産声をあげました。素晴らしい先生方の中で立ち上げに携わった一人として参加させていただき、あの日の高揚を今も鮮明に覚えております。
初代会長・柳井智恵先生に始まり、田中道子先生、立川敬子先生、渥美美穂子先生と、歴代の先生方がそれぞれの時代に情熱と信念をもって会を導いてくださいました。そしてこの記念すべき節目に、小林真理子先生が新たに会長職を引き継がれましたこと、大変心強く、また感慨深く思っております。
先生方の弛まぬご尽力により、WDAIは今や多くの女性歯科臨床家にとってかけがえのない学びと交流の場へと成長いたしました。立ち上げ当時を知る者として、この十年の歩みに深い感慨を覚えるとともに、歴代会長をはじめ会員の皆様、そしてお支えくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

WDAIが今後もさらなる発展を遂げられますことを祈念し、
お祝いの言葉とさせていただきます。

## 吉武博美 先生 ( 伊東歯科口腔病院 )



WDAI 10周年おめでとうございます

私がWDAIに初めて参加したのは第７回定例会（2019.7.7）でした。この日、WDAIの皆様と出会ったことで、私の歯科医師人生は変わりました。リードチームの先生方を中心に、女性歯科臨床家が集い、学び、互いに切磋琢磨している会場は活気があり、参加している皆さんがキラキラ輝いていました。この中に入りたいと思い、即入会しました。
その後、コロナ禍となり、定例会はオンラインで開催されるようになり、また、コロナ後も、遠方在住の方や子育て世代でも参加しやすい形でハイブリッド開催形式に変化しました。そして、今日、１０周年を迎えることができました。これもひとえに、皆様のご協力のおかげと、深く感謝いたします。
これからは、より一層、女性が学びやすい環境を考えながら、次の10年に向かって邁進していきたいと思っております。WDAIに対するご意見・ご要望などありましたら、どしどしお寄せいただき、皆でこの会を育てていけたらと思っております。そして、患者様にとって最善のインプラント治療を提供し、またそのことにより、私達会員自身幸せになれたらいいなと願っています。

## 山口葉子 先生　（松本歯科大学）



設立 10 周年を迎え、会員の皆様、歴代会長、そして支えてくださっている
ストローマン・ジャパン株式会社に感謝申し上げます。

思い出深いのは、コロナ禍の 2020 年から始まった活動のオンライン化です。立川先生のもと、新たな試みとして「東京イブニングカンファレンス」が Zoom で開催され、私も運営に携わりました。手探りでしたが、画面越しでも学び合えることを実感しました。続く第 9 回定例会は初のオンライン開催となり、第 10 回では実行委員長としてその形式を引き継ぎました。その後もリードチームのけん引により、現在のハイブリッド形式へとつながっています。一方、今夏の上高地でのミートアップ研修では、自然の中で予定外の出来事や何気ない会話から生まれるつながりに、対面ならではの良さを感じました。

これからもオンラインと対面、それぞれの良さを生かし、交流を深めていければと思います。

## 小田由香里 先生　(医療法人燦清会 高橋歯科医院)



WDAI 設立 10 周年、誠におめでとうございます。

女性インプラント歯科医師の架け橋として、技術向上や学術交流、女性の活躍推進にご尽力されてきた 10 年の歩みに、理事の一人として深謝申し上げます。
私自身、2017 年の第 4 回定例会にて初めて会員発表という貴重な機会をいただいて以来、当会で得た学びと皆様の温かいお支えが、今日の大きな糧となっております。素晴らしい環境と絆を築いてくださった諸先輩方、ならびにストローマン株式会社様をはじめとする協賛会社の皆様に、改めて心より感謝申し上げます。
これまでの歩みを礎に、小林真理子会長のもと、次の 10 年もインプラント治療の発展と女性医療従事者がより輝く未来を目指し、皆様と共に力を尽くしてまいります。

WDAI の益々のご発展と、会員・関係者の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

*10th Anniversary*

# WDAI定例会の軌跡

## 2016

| KICK OFF | 第1回 |
|---|---|
| 2016.7.3. | 2016.10.23. |
| 特別講演：<br>小宮山弥太郎，渡邉文彦<br>勝山英，住友雅人<br>Frauke Müller<br>西加南子 (登壇順)<br><br>柳井智恵，田中道子<br>立川敬子，渥美美穂子<br>小林真理子，山口絵美<br><br>会長：柳井智恵 | 特別講演：勝山英明<br><br>教育講演：田中道子<br><br>会員発表：<br><br>石黒恵里子、渡邉美和子、<br>森山聖子、三好理恵子<br><br>会長：柳井智恵 |

## 2017

| 第2回 | 第3回 | 第4回 |
|---|---|---|
| 2017.2.19 | 2017.7.9 | 2017.12.3 |
| 特別講演：塩田真<br><br>教育講演：高田尚美<br><br>会員発表：<br><br>野崎博美、春山早紀、趙彩子、<br>山口絵美<br><br>会長：柳井智恵<br>実行委員長：立川敬子 | 特別講演：三好敬三<br><br>教育講演：櫻あさ子<br><br>会員発表：<br><br>山本麗子、小森由子、青柳恵子<br>渡辺多恵、岡本陽子、<br>今村みちる、田中志歩<br><br>会長：柳井智恵<br>実行委員長：渥美美穂子 | 特別講演：嶋田淳<br><br>教育講演：渥美美穂子<br>小林真理子<br><br>会員発表：<br><br>昇直美、小田由香里、安東未央<br><br>会長：柳井智恵<br><br>実行委員長：田中道子 |

## 2018

| 第5回 |
|---|
| 2018.7.22 |
| 特別講演：中村社綱<br><br>教育講演：木村洋子<br><br>会員発表：<br><br>古川優美、古田晶子、金安麻未、大庭<br>容子、坂下佳奈子<br><br>会長：柳井智恵<br><br>実行委員長：三好理恵子 |

## 2019

| 第6回 | 第7回 |
|---|---|
| 2019.1.27 | 2019.7.7 |
| 特別講演：田中譲治<br><br>教育講演：吉野綾、山口千緒里<br><br>会員発表：<br><br>田内友貴、茂木幸子、徳江藍<br><br>会長：柳井智恵<br><br>実行委員長：小林真理子 | 特別講演：岡本浩<br><br>教育講演：渥美美穂子<br><br>会員発表：<br><br>加藤糸保、内山佐知子、若竹直美、山<br>本瑞穂、吉武博美<br><br>会長：柳井智恵<br><br>実行委員長：山口絵美 |

## 2020

| 第8回 |
|---|
| 2020.2.2 |
| 特別講演：野本秀材<br><br>教育講演：山口葉子<br><br>会員発表：<br><br>鴨井愛子、真弓佳代子、添島絵美、太<br>田ゆか、新山展代<br><br>会長：田中道子<br><br>実行委員長：青柳恵子 |

## 2021 (コロナ禍ZOOM開催)

| 第9回 | 第10回 |
|---|---|
| 2021.2.23 | 2021.7.4 |
| 特別講演：船越栄次<br><br>教育講演：立川敬子<br><br>会員発表：<br><br>大庭美和子、白鳥香理、高田尚美<br><br>会長：田中道子<br><br>実行委員長：立川敬子 | 特別講演：上浦庸司<br><br>教育講演：――<br><br>会員発表：<br><br>ザルスキー泰子、寺澤真祐美、田中志歩<br><br>会長：田中道子<br><br>実行委員長：山口葉子 |

## 2022 (コロナ禍ZOOM開催)

| 第11回 | 第12回 |
|---|---|
| 2022.2.23 | 2022.7.3 |
| 特別講演：筒井照子<br><br>教育講演：――<br><br>会員発表：<br><br>立花しのぶ、長岡理恵、山本麻衣子<br><br>会長：田中道子<br><br>実行委員長：吉武博美 | 特別講演：丸尾勝一郎<br><br>教育講演：柴戸和夏穂<br><br>会員発表：<br><br>甲田恭子、川尻亜砂美<br><br>会長：田中道子<br><br>実行委員長：小森由子 |

## 2023

| 第13回 | 第14回 |
|---|---|
| 2023.2.23 | 2023.10.9 |
| 特別講演：山崎長郎<br>教育講演：柴原由美子<br>会員発表：植村美穂<br><br><br>会長：立川敬子<br><br>実行委員長：柴戸和夏穂 | 特別講演：笹田雄也<br>教育講演：　———<br>会員発表：<br>吉村麻里奈、古舘美弥、森田有咲<br><br>会長：立川敬子<br><br>実行委員長：山村恵子 |

## 2024

| 第15回 | 第16回 |
|---|---|
| 2024.4.7 | 2024.10.14 |
| 特別講演：　———<br>教育講演：柳井智恵，本田貴子<br>会員発表：<br>前田明子、福留美由紀、<br>斎藤理絵子<br><br>会長：立川敬子<br><br>実行委員長：渥美美穂子 | 特別講演：大久保力廣<br>教育講演：坂本歩美<br>会員発表：<br>結城小百合、齋藤理子、李侑希<br><br>会長：渥美美穂子<br><br>実行委員長：小林真理子 |

## 2025

| 第17回 | 第18回 |
|---|---|
| 2025.4.13 | 2025.9.15 |
| 特別講演：矢島安朝<br>教育講演：山口葉子<br>会員発表：<br>小田由香里、藤崎みのり、松田ほのか、<br>杉山実彩、<br>小形早貴子<br><br>会長：渥美美穂子<br>実行委員長：山口絵美 | 特別講演：吉成伸夫<br>教育講演：吉武博美<br>会員発表：<br>夏井桃果、若生展代、<br>森こず恵<br><br>会長：渥美美穂子<br>実行委員長：山口葉子 |

## 2026

| 第19回 | 第20回 |
|---|---|
| 2026.4.12 | 2026.10.12 |
| 特別講演：飯島俊一<br>教育講演：小森由子<br>会員発表：<br>井上絵理香、有村知子、<br>甲田恭子<br><br>会長：渥美美穂子<br>実行委員長：吉武博美 | 特別講演：髙橋哲、<br>記念講演：小野田勝美<br>招待講演：山田陽子<br>会員発表：<br>絹原有理、中久木舞流，佐藤真光<br>会長：小林真理子<br>実行委員長：小森由子<br>GALA ー<br>ビデオメッセージ：Prof. Frauke Müller<br>オペラ：高田尚美 |


Kickoff


第1回


第2回


第3回


第4回

*10th Anniversary*

# WDAI定例会の軌跡 つづき


第5回


第6回























第14回


第15回


第16回



第17回


第18回


第19回



第20回

*10th Anniversary*

# *WDAI学術活動*

*ハンズオン，症例検討会，メンターブログラム，アシスタントセミナー，支部会，合宿型研修会，病院見学会*




**ベーシックコース 2 Days**
(1Dayコースのスタートアップとして復活！)




**定例会・総会**
(ハイブリッド開催として現在に継承)




**メンタープログラム**
(現在，休止中)




**アシスタントセミナー**
(現在，休止中)




**支部会**
(病院見学会として2025年 開催)




**ニュースレター Academy News**
(2026年，復活！)




**会員専用サイト・オンライン授業**
(⚠️ 2023年サービス終了)




**症例検討会**
Tokyo evening conference







WDAI 合宿型研修会
湯河原 2025，　上高地 2026







WDAI 病院見学研修会
2026

# WDAI
# UPCOMING EVENTS

1

**参加者募集中**

定例会チャレンジ割引 5,000円OFF
10月末日まで

2026年11月29日（日）

## インプラント埋入実習スタートアップコース

実行委員長 講師 WDAI理事　山口絵美




2

**開催日決定**

2027年４月４日（日）

## WDAI 第21回定例会・総会

実行委員長 WDAI会長 小林真理子

3

**開催予定**

## 光学印象 デジタル歯学入門

実行委員長 WDAI理事 小田由香里

Challenge
～インプラント臨床とミライへの挑戦～

# Sponsors

Acknowledgements

## with Our Sincere Appreciation

WDAI創設10周年記念講演・第20回定例会ならびに
WDAI 10th Anniversary Gala の開催にあたり、
多大なるご支援を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

### Premier Partner

ストローマン・ジャパン株式会社

### Partner

五十音順

アース製薬株式会社 様
株式会社 アスカ 様
株式会社 オーラス 様
株式会社 Gaudi Clinical 様
株式会社 近藤研究所 様
株式会社 soeasy 様
株式会社 東京ミライズ 様
野田製薬株式会社 様
Ｐ＆Ｇジャパン合同会社 様
株式会社ピュアリマーケティング 様




WDAI Woman Dental Academy for Implantology 女性歯科インプラントアカデミー
お問い合わせ先：WDAI事務局
〒103-0005
東京都中央区日本橋久松町11-8　REGRARD NINGYOCHO 5F
株式会社インターベント内
TEL：03-3527-3890　FAX：03-3527-3889
E-mail：info@wdai.jp
Copyright © 2017 WDAI All Rights Reserved.